



真冬の図書館で、高校生の読み聞かせが熱い！

「読み聞かせ」というと、熟練したボランティアによるものをイメージしやすいのですが、今、高校生による読み聞かせがあちこちで行われています。今回は二つの実践をご紹介します。

お兄さん、お姉さんがかっこいい！

～「高校生の読み聞かせ会」大館市立中央図書館～



1月7日（土）、大館市内の5高校（大館鳳鳴・大館桂・大館工業・大館・大館国際情報）の高校生が合同で、幼児を対象とした絵本の読み聞かせを行いました。読んだ本は11冊。ストーリー展開のおもしろさを味わえるもの、ページをめくるたびに歓声の上がる絵でいっぱいのも、子どもたちもいっしょに声を出したりポーズを作ったりして参加型で楽しめるものなど、よく考えられた選書でした。また、高校生の優しい笑顔と語りかけ、反応を見ながらの進行などにより、集まった子どもたちは絵本の世界を大いに楽しむことができました。

今回、読み聞かせを行った15人の高校生の参加の動機は、

「図書委員会の大切な活動だから。」

「以前からボランティアに興味があったので。」

「子どもが好きで、子どもたちと関わりたいと思っていたので。」

「保育士を目指しているので、これがいい経験になると思ったから。」

と、様々ですが、子どもたちに絵本の楽しさを伝えたいという熱い思いは同じ。

中央図書館の職員は

「子どもたちは、高校生のお兄さん、お姉さんが読んでくれるだけでうれしいんですよ。」

と、高校生の読み聞かせの効果に、十分な手応えを感じているようでした。

体感！新たな文学の楽しみ方

～「大人のための朗読会」由利本荘市中央図書館～

1月22日（日）、由利本荘市文化交流館カダーレ内にある中央図書館で、18人の本荘高校放送部員による大人向けの読み聞かせが行われました。この朗読会には「新しい文学から新しい自分」を見つけてほしい、というテーマがあり、4作品が朗読されました。

絵本とは違って、繊細な心理描写や象徴的な情景描写を耳から入ってくることで味わうのは容易なことではありません。でも、そこはさすが放送部。心地よいトーンと流暢な読みで来場者に内容を明瞭に伝え、さらに情景をイメージしやすい映像とBGMが鑑賞効果を高めます。

『さがしもの』（作・角田光代）では異国の香り漂う古本屋の写真が、『源氏物語』（現代語訳・橋本治）になると平安時代の時絵風画像が、『赤毛のアン』（作・モンゴメリ）のときはグリーンゲイブルズそのままの調度品や風景の映像が大きなスクリーンに映し出されると、たちまちその文学の世界に引き込まれてしまいます。

「大人のための…」であったものの、来場者の中には、小学生や高校生の姿も見られ、これまでの読み聞かせとは異なる雰囲気を感じているようでした。もちろん大人にも好評で、

「昔読んだ本だけど、もう一度読みたくなった。」との声もありました。

文学の新しい楽しみ方を教えてくれた朗読会となりました。



市町村の読書活動は次のステージへ

～「子ども読書夢プラン事業」第5回研修会～

1月11日(水)、「子ども読書夢プラン事業」研修会を行いました。

今年度、読書サポーターのスキルアップ研修は5回。25名のサポーターは、ブックトーク、ストーリーテリング、ピフォー&アフター、イベント企画等、すぐに使える知識や技能を身に付けては、それぞれの派遣先での読み聞かせや図書館環境整備に生かしてきました。

最終となる今回は、一人一人がこれまでの実践を発表し合いました。発表することで、3月の事業終了までになすべきことが明確になっただけでなく、他のサポーターのアイデアや工夫がヒントとなって、次の活動意欲が湧いてくる情報交換となりました。

この3年間の事業で、読書サポーターは派遣先の小・中学校における図書館環境整備や読書活動の支援を行うだけでなく、幼少期から読書に親しめるように、ブックスタート事業や保育所・幼稚園・放課後児童クラブでの読み聞かせなど、地域に、様々な読書を楽しむ場を提供してきました。

また、読書サポーターは、団体貸出や図書館訪問の段取りをすることで学校と市町村図書館をつなぎ、いっしょに読み聞かせや図書整理を行うことでボランティアや保護者を学校及び市町村図書館と結びつけるなど、子どもの読書活動を支援する大人たちのネットワークづくりを行ってきました。

来年度、読書サポーターが整えてきた読書環境や仕組みを生かして、市町村の読書活動は新たなステージに向かいます。



平成23年度図書館報コンクール 結果

◇ 最優秀賞
◇ 優秀賞

大館鳳鳴高等学校「図書館報第57号」

大曲高等学校「天狼星(シリウス)第64号」

紙面デザイン賞
企画ユニーク賞
取材努力賞

能代北高等学校・大曲工業高等学校
秋田西高等学校
能代商業高等学校

グッドアングル賞
委員会活動賞

秋田南高等学校
六郷高等学校

活動紹介

10月29日、文部科学省から表彰された「子どもの読書活動優秀実践校」。今回は、秋田県立秋田西高等学校の取組を紹介します。

- ・図書委員による「図書館だより」(月1回)・「図書館報」(年1回)の発行、新入生オリエンテーションの実施(各クラス1回)、クラス別貸出数の掲示(月1回更新)、生徒昇降口やテーマ展示コーナーにおける図書の紹介(月1回更新)により読書意欲の喚起に努めています。
- ・昭和61年から地域開放を行い、一般利用者へ貸出もしています。「利用のしおり」を配布したり「広報かたがみ」に利用案内を掲載したりすることで、地域に図書館の存在が浸透しています。
- ・学校祭での古本市や展示、図書委員による他校図書館訪問や他校図書委員との交流会(年1回)等のイベント的な取組により、積極的に情報発信も行っています。

「子ども読書夢プラン事業」の研修会で得た情報をもとに、学校図書館の環境整備やその活用等についてのヒントを、生涯学習課ホームページで紹介しています。<生涯学習課ホームページ><各種情報><学校図書館が拓く読書の世界>

<http://www.pref.akita.lg.jp/www/genre/0000000000000/1310716400341/index.html>

秋田県教育庁生涯学習課
生涯学習・読書推進班

URL

<http://www.pref.akita.lg.jp/syogaku/>

